

本会の活動から

東京都島しょ部のがん検診等に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした2025年度のがん検診のうち、神津島村の乳がん・子宮がん検診・循環器検診が神津島村生きがい健康センターを会場として5月8～11日に行われ、本会が協力した。

学術集会への参加等

●第98回日本産業衛生学会が5月14～17日、「持続可能でよりよい世界を目指す産業保健」をテーマに宮城県仙台市で開催され、理事長の久布白兼行、健診事業部長の廣瀬篤史、総合健診部長の川井三恵、健康増進部長の加藤京子、同部の職員2人が参加した。このうち、加藤が「労働衛生機関保健師のワーク・エンゲイジメントが高まる要因に関する検討」と題し、「一般口演4人材育成・教育1」で発表した。

●第50回日本超音波検査学会学術集会が6月14～15日、「超音波検査の集合知」をテーマに神奈川県横浜市で開催され、検診検査部長の神宮字広明、同部の職員10人が参加した。このうち、神宮字はワークショップ「検診マニュアルに基づいた所見判読 その3」の座長を務めた他、「検診施設での技師教育」をテーマに、パネルディスカッション「腹部超音波検診の集合知」で講演した。

令和7年度理事会、評議員会を開催

本会の令和7年度第1回理事会（定例）を6月9日に開催した。理事長の久布白兼行を議長として、「令和6年度事業報告、収支決算承認の件」「定時評議員会の開催について」などの決議を行い、いずれも満場一致で承認された。

一方、6月24日に開催した令和7年度定時評議員会では、中野厚夫評議員を議長に選任し、「令和6年度事業報告、収支決算承認の件」「任期満了に伴う（理事・監事）選任の件」などに

関する決議を行い、いずれも満場一致で承認された。

また同日、評議員会終了後に開催した第2回理事会（臨時）では、業務執行理事の選定と担当業務などを決議し、新体制を次のように確定した。

理事長=久布白兼行、専務理事=前田秀喜（事務局、デジタル推進局担当）、常勤の理事=阿部勝巳（健康支援センター担当）、矢島晴美（事務局、検査研究センター担当）、黒田聡史（事業本部担当）

理事=山田忠輝（東京都保健医療局長）、松本和紀（東京産婦人科医会会長）、櫻林郁之介（予防医学事業中央会理事長）、三橋裕行（日本家族計画協会理事長）、根本克幸（神奈川県予防医学協会理事長）、須賀万智（東京慈恵会医科大学環境保健医学講座教授）

監事=小海正勝（弁護士）、中村寿孝（税理士）

<順不同>

藤井 多久磨医師が本会の 検査研究センター長に就任しました

藤井 多久磨（ふじい たくま）医師は、1987年に慶應義塾大学医学部を卒業。国立がんセンター研究所リサーチレジデント、米国エール大学リサーチアソシエイト、藤田医科大学医学部婦人科学講座教授・副院長などを歴任し、2025年4月に本会検査研究センター長に就任しました。



専門は、婦人科がん、特に細胞診判定やコルポスコピーです。

日本産婦人科学会専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・教育研修指導医などの資格を有し、本会保健会館クリニックでは婦人科外来を担当しています。

趣味はアウトドアとスポーツ。自然の中でリフレッシュする時間を大切にしているそうです。